

「今回生まれ変わらなければ、明日の関西電力はない」との不退転の決意で、あらゆる改革を断行し、再びみなさまから信頼をいただけるよう、全力を尽くしてまいります。

取締役会長

榊原 定征



株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜わり、厚く御礼を申しあげます。

このたび、取締役会長に就任いたしました榊原定征でございます。

今回、当社の役員等が社外の関係者から金品を受け取っていた問題等により、株主のみなさまをはじめ、お客さまや社会のみなさまからの信頼を大きく損なう事態に至ったことは、関西電力創業以来の危機的な状況であると重く受け止めております。

一度失った信頼を、再びみなさまから頂戴する道のりは非常に険しいものと考えておりますが、関西電力の力強い再生―「新しい関西電力」「お客さまや社会のみなさまから信頼される関西電力」―を創りあげていくことこそが、私の使命であると考えております。

株主のみなさまから寄せられた期待、そしてそれを遂行する責任の重さに、まさに身の引き締まる思いがありますが、これまでの私の経験・知見を総動員してこの重責を全うしてまいる所存でございます。

社長の森本をはじめ、新たな経営陣そして関西電力グループ全従業員とともに、力を合わせ、新しい関西電力の創生に全力を尽くしてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取締役代表執行役社長

森本 孝



本年3月に社長に就任いたしました、森本孝でございます。

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

はじめに、当社の役員等が社外の関係者から金品を受け取っていた問題等により、多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

### 第三者委員会調査報告書について

本問題については、中立・公正な社外委員のみで構成される第三者委員会を設置し、客観的かつ徹底的な調査を行っていただきました。

第三者委員会の調査報告書では、ガバナンスやコンプライアンス、工事発注、役員退任後の嘱託等の報酬に関する問題等、様々な観点から指摘を受け、これらの問題の根本的な原因は、「ユーザー目線」の欠落と、コンプライアンスよりも業績や事業活動を優先する内向きの企業体質にあると結論づけられました。

### 再発防止に向けた取組み

当社は、報告書の内容を厳粛かつ真摯に受け止め、再発防止に向けた業務改善計画を取りまとめ、本年3月30日に、経済産業大臣に提出いたしました。  
(業務改善計画の概要については、3-4頁の記事をご参照ください。)

現在、業務改善計画に掲げた再発防止策を、全力を挙げて実行しているところでありますが、私自身が先頭に立って、不退転の決意で改革を断行してまいりますことを、以下のとおり「社長宣誓」として、株主さまをはじめステークホルダーのみなさまにお約束いたします。

### 【社長宣誓】

1. 私は、関西電力グループのトップとして、「業績や事業活動をコンプライアンスに優先させることは断じてあってはならない」と肝に銘じ、法令遵守はもとより、時代の要請する社会規範とは何かを常に「ユーザー目線」で考え、それに則って行動し続けることを約束します。
2. 私は、そのために必要であれば、いかなる社内慣行やルール、組織・体制等であっても、ためらうことなく、改めるべきを改めていくことを約束します。
3. 私は、これらを自ら徹底して実行し続けることによって、改革への強い意志を当社グループの隅々にまで拡げ、関西電力グループ全体として、誠実で、透明性の高い開かれた事業活動を継続していくことを約束します。
4. 私は、ステークホルダーのみなさまからの信頼を損なうような事態が発生したときには、速やかに原因究明と再発防止に努め、自らの責任を明確にすることを約束します。

このたび、指名委員会等設置会社へ移行いたしました。が、その他の面でもより実効的なガバナンス体制を構築するとともに、コンプライアンスの徹底や、工事の発注・契約に係る業務の適切性・透明性の確保に関しても、外部の客観的な視点を重視した改革を進めてまいります。

当社グループは、これらの改革を着実に実行していくことで、誠実で、透明性の高い開かれた事業活動を実現してまいります。

### 関西電力グループ重点取組み(2020)

2020年度は、「新型コロナウイルスへの対応」と「業務改善計画の完遂を通じた信頼回復」を「関西電力グループ重点取組み(2020)」として位置づけ、「関西電力グループ中期経営計画(2019-2021)」に掲げた取組みを着実に推進してまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本年4月には全国を対象に緊急事態宣言が発出され、社会全体でその克服に向けて取り組むことが求められております。

こうした中、当社グループは、事業活動に関わる全ての人の生命・健康を守りながら、事業継続に万全を期すことにより、電気・ガス・通信等、社会のみなさまのくらしやビジネスに不可欠なインフラを担う事業者として、引き続き、これらを安全・安定的にお届けできるよう、総力を挙げて取り組んでまいります。

また、信頼回復に向け、業務改善計画に掲げた再発防止策を迅速かつ確実に実行してまいります。

加えて、当社グループとして持続的な成長を図るため、徹底した効率化の追求や、販売・電源両面での競争力の向上、新規成長分野の開拓等を通じて、あらゆる面で改革を実行してまいります。

### 2019年度連結決算は減収増益 年間配当は50円といたしました

2019年度の連結収支につきまして、売上高(営業収益)は3兆1,842億円、経常利益は2,115億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,300億円となりました。(詳細は6頁をご参照ください。)

2019年度の期末配当につきましては、経営環境を総合的に勘案し、1株当たり25円といたしました。これにより年間配当金は、中間配当25円と合わせて、1株当たり50円となります。

### むすび

今後は、会長とともに、新たな経営体制のもと、関西電力グループの総力を結集し、これらの取組みを進めていくことで、再び信頼を賜わり、お客さまから選ばれ、社会から必要とされる、新たな関西電力の創生を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。